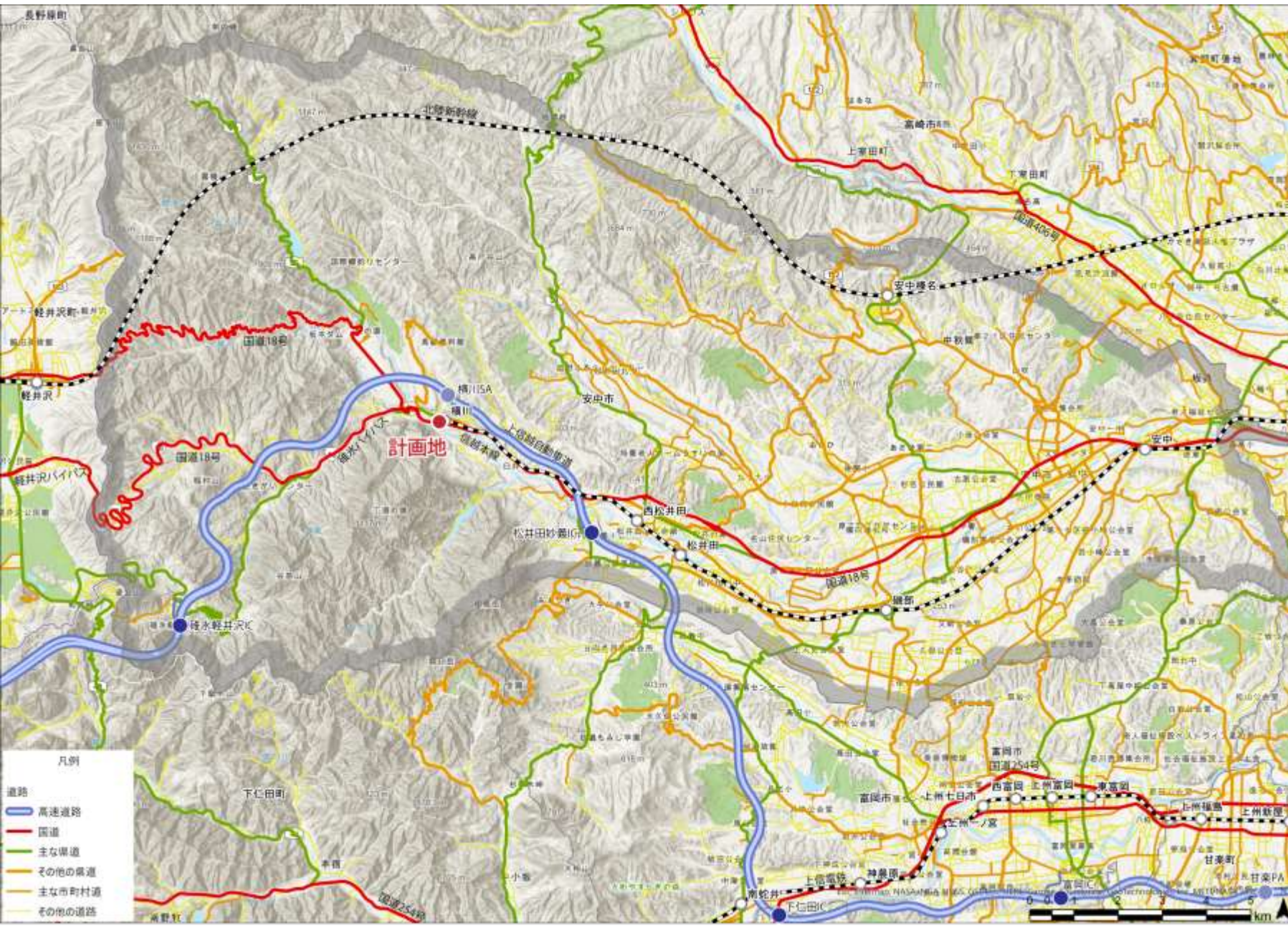

安中市道の駅基本構想検討 基礎資料集

令和5年11月6日現在

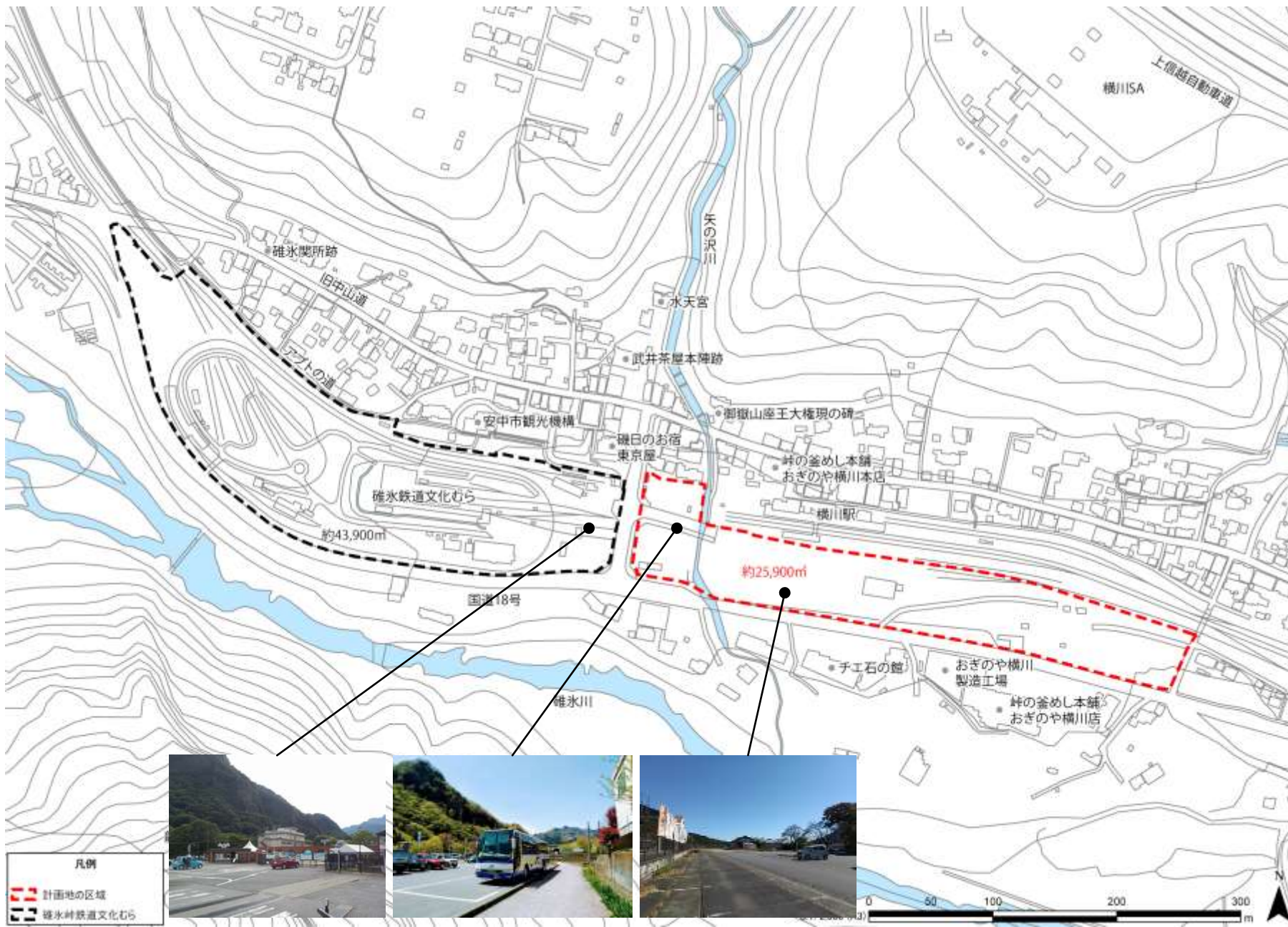
1. 計画地の位置



- 計画地はJR信越本線の終点である横川駅の近傍、国道18号沿道に位置する。
- 軽井沢方面と、安中市・高崎市方面を結ぶ出入口にあたる。
- 最寄りのICは、上信越自動車道松井田妙義ICになる。
- 松井田妙義ICから国道18号を経由して軽井沢方面と往来する広域交通に面することから、観光誘客が図りやすい立地にある。

2. 計画地の区域

注:区域は仮に設定したものであり、決定したものではありません。



- 道の駅は、横川駅南側の低未利用地を対象に検討する。現状は、バスが発着するロータリー、駐車場、倉庫等となっている。
- 隣接して観光誘客の最大要素である市有施設の「碓氷鉄道文化むら」が立地しており、道の駅と機能分担し、一体的に誘客することを視野に検討する。
- 今後の整備や誘客状況等に応じて、この区域のみならず広域的な区域を検討する。

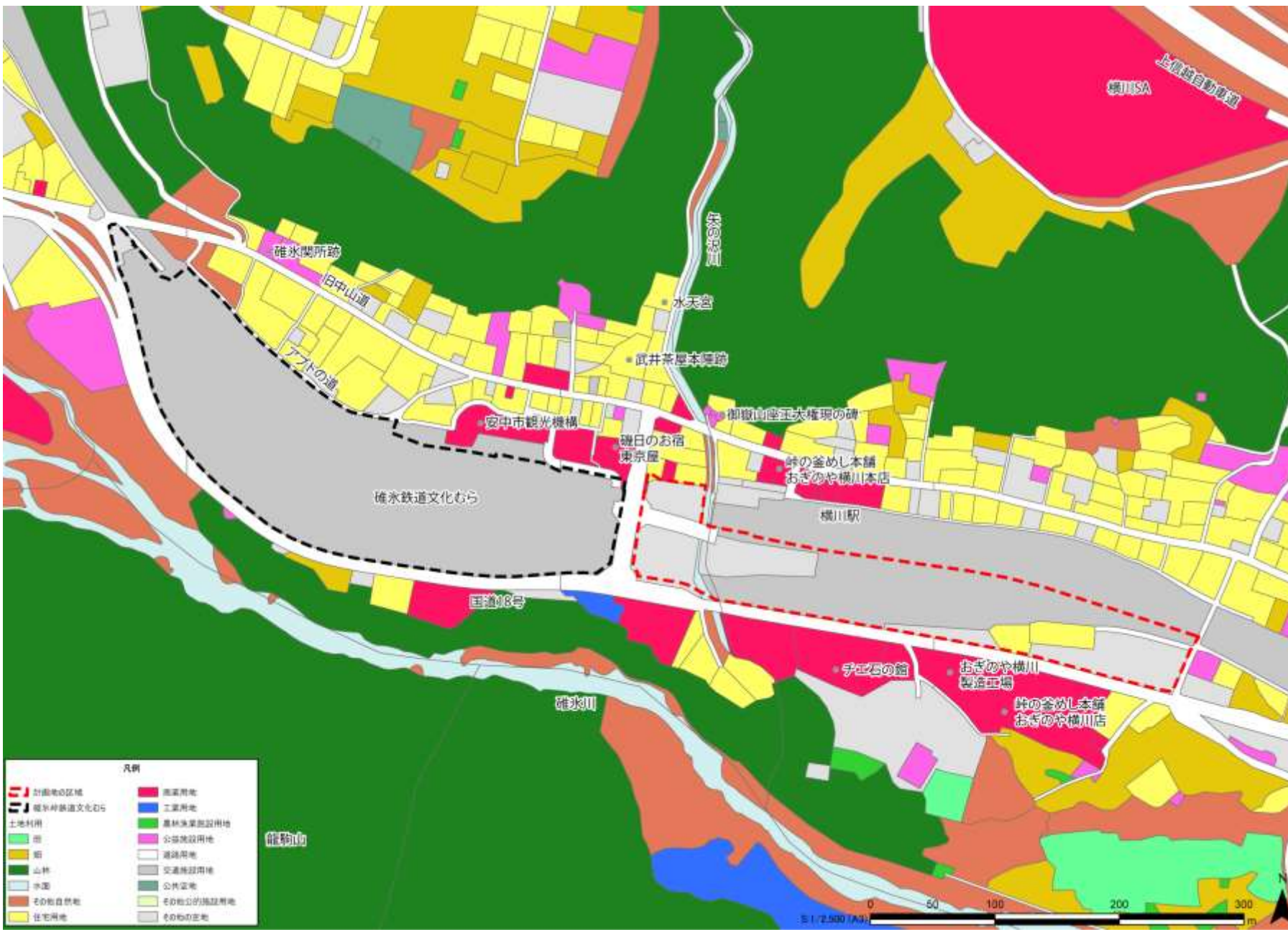
凡例

■ 計画地の区域
■ 碓氷峠鉄道文化むら



3. 計画地周辺の土地利用

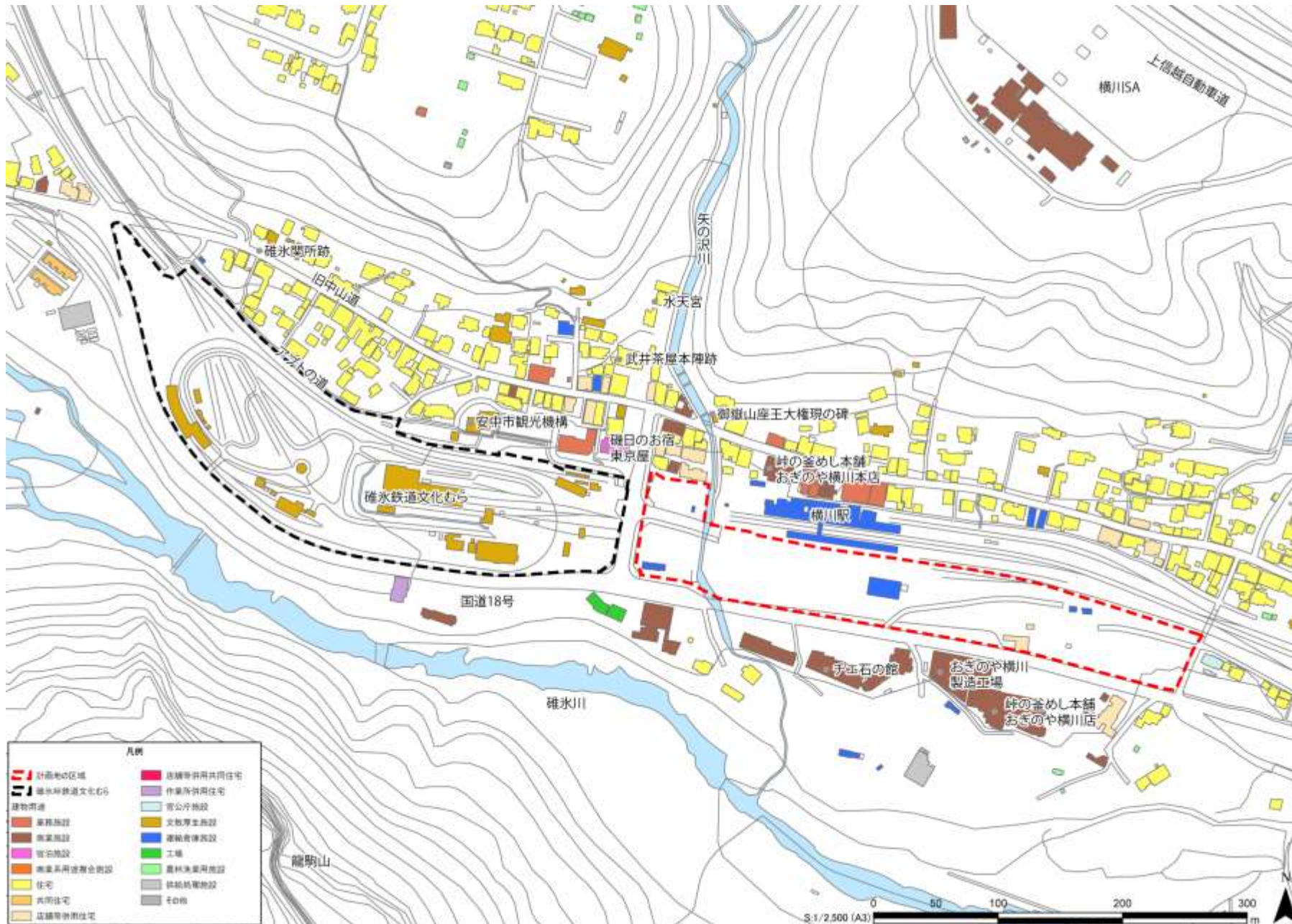
注：区域は仮に設定したものであり、決定したものではありません。



- 計画地は、駐車場等の空地が多く、道の駅建設用地としては、条件が整っている。
- 横川駅周辺、「アプトの道」の起点などの観光ポイント周辺は、商業用地となっている。
- 国道18号沿道は、ロードサイド型の商業用地となっている。
- 旧中山道に沿って、住宅地が展開している。

4. 計画地周辺の建物用途

注: 区域は仮に設定したものであり、決定したものではありません。



- 計画地東側の区域には、倉庫、店舗併用住宅が数軒あるのみである。
- 計画地西側の区域には、「碓氷鉄道文化むら」の施設が立地している。
- 主要な施設としては、国道18号沿道のドライブインで多くの立寄りがみられる「おぎのや横川店」、「おぎのや横川製造工場」が立地している。
- 横川駅周辺、旧中山道沿道には、小規模だが、観光客向けの飲食店、宿泊施設、観光案内所、名所旧跡が立地している。
- 主要な周遊ルートである「アプトの道」沿いの安中市観光機構の観光案内所は、立寄りポイントの一つになっている。

5. 鉄道によるアクセス



横川駅



東京駅

1時間16分

長野駅

1時間12分

長岡駅

1時間8分

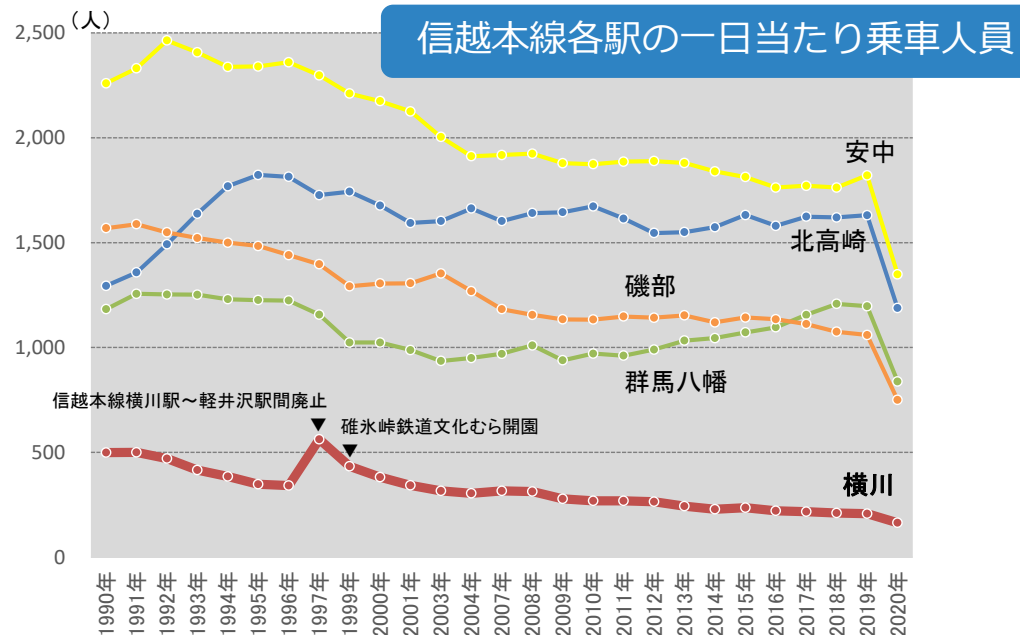
糸魚川駅

1時間44分

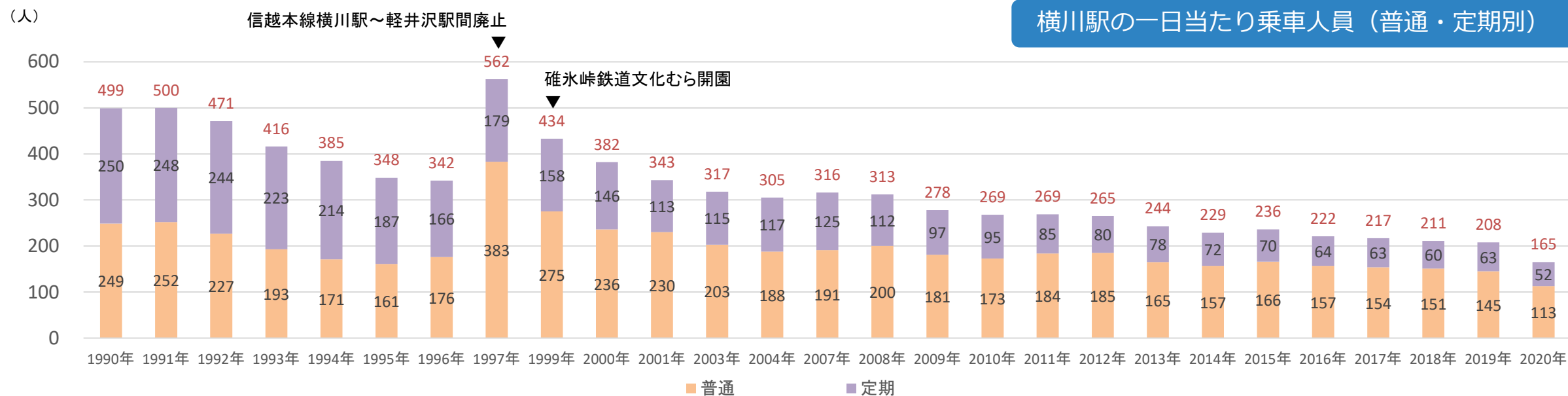
注：高崎駅経由の最速の所要時間で、乗り換え時間は含まない

- 計画地は、東京駅から乗換を含めて1時間30分程度で結ばれ、東京方面からのアクセスがよい。
- また、長野駅からも1時間30分程度であり、長野方面からのアクセスもよい。軽井沢駅から路線バスで横川駅に向かうこともできる。
- 軽井沢観光と連携した、広域からの集客を図りやすい立地条件にある。

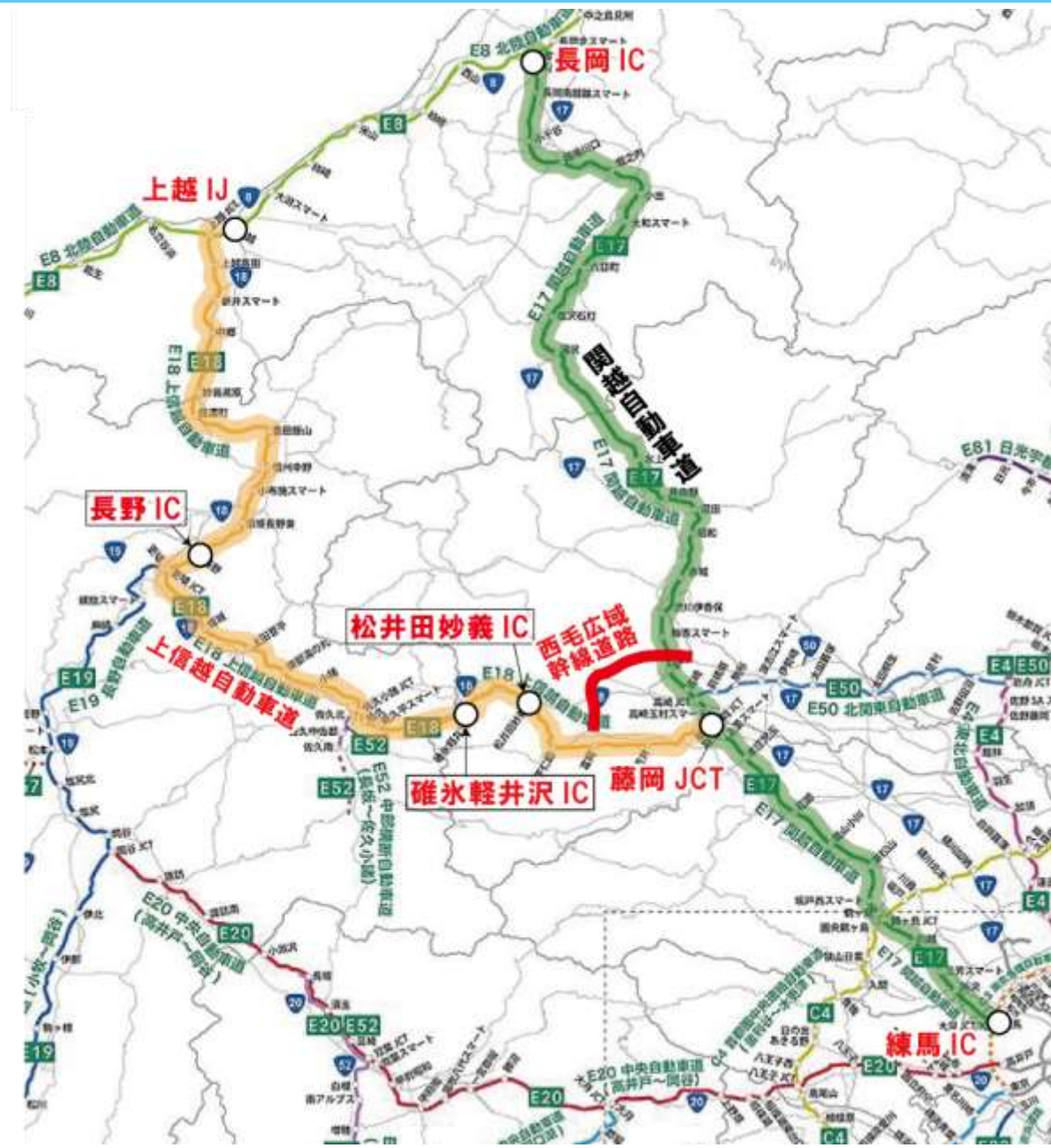
6. 信越本線の駅乗降客の動向



- 信越本線は1997年に横川駅～軽井沢駅間が廃線となり、1999年に横川運転区跡地に碓氷峠鉄道文化むらが開園している。
- 横川駅は鉄道文化むら開園後、しばらくは300人を超える乗車人員を維持していたが、2009年頃から減少傾向となり、コロナ禍以前の2019年には200人程度にまで減少している。
- 普通乗車券による乗車人員が多いことが特徴で、観光目的の利用が多いことがうかがえる。
- しかし、観光目的とみられる普通乗車券の乗車人員においても、長期的に減少傾向にある。



7. 高速道路によるアクセス



松井田妙義IC



練馬IC

1時間13分(116km)

長野IC

1時間5分(87km)

長岡IC

2時間22分(234km)

上越IC

1時間56分(172km)

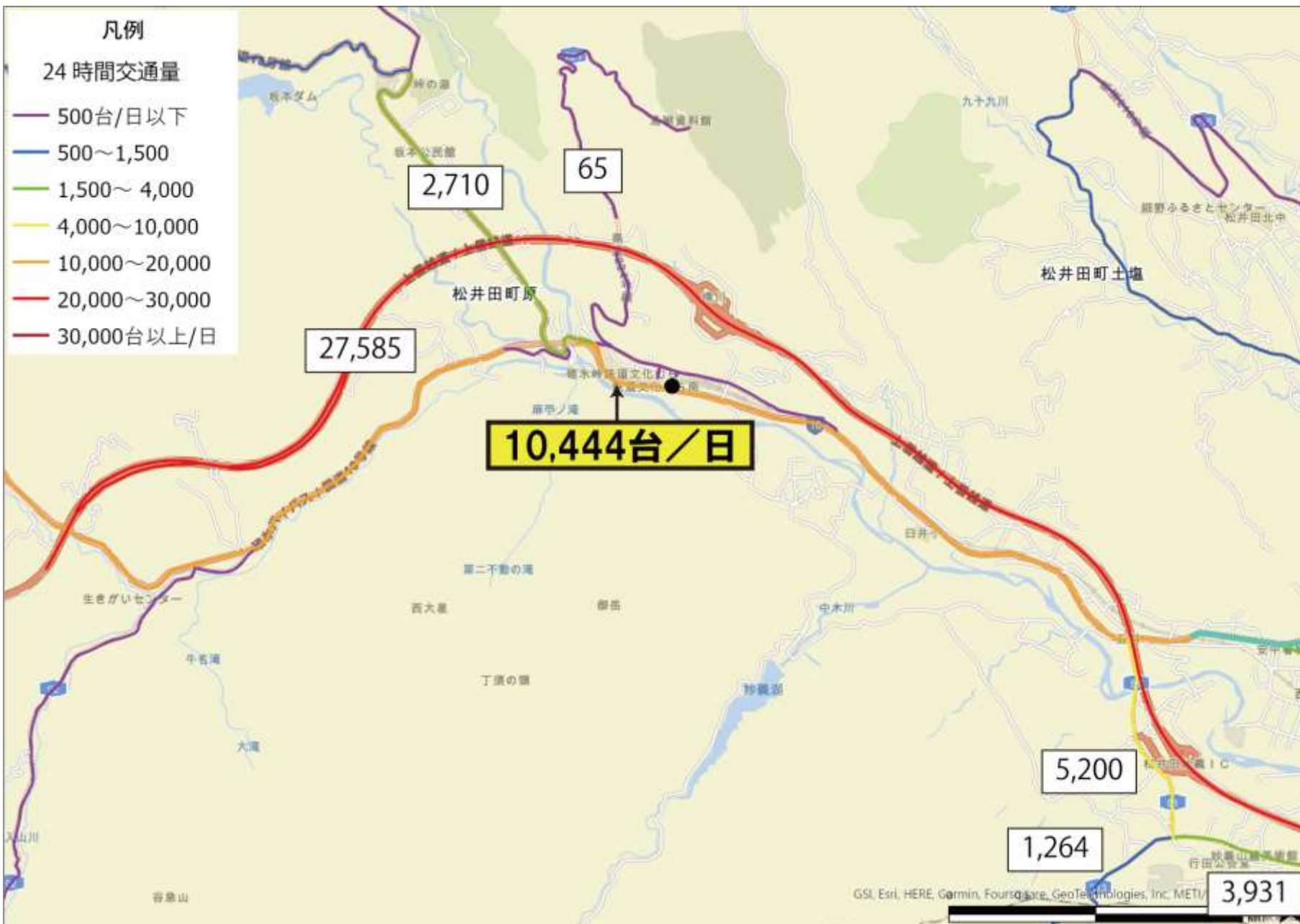
- 計画地は、松井田妙義ICから、上信越自動車道、関越自動車道により、練馬ICより1時間13分で結ばれ、東京方面からのアクセスがよい。
- また、長野ICから1時間5分であり、長野方面からのアクセスもよい。
- 軽井沢観光と連携した、広域からの集客を図りやすい立地条件にある。

8. 一般道路によるアクセス



- 周辺地域からは、国道18号線によるアクセスとなる。
- 西毛広域幹線道路の整備により、高崎市、前橋市方面からのアクセス向上が図られ、立地ポテンシャルが高まると考えられる。
- なお、最寄りの道の駅としては、5km圏に道の駅「みょうぎ」が立地するが、動線が異なるなど差別化は可能と考えられる。

9. 自動車交通量



- 現在の計画地の前面交通量は、10,444台/日であり、仮に立寄率を10%と想定すると、必要な駐車スペース数は40台～70台程度と推計される。

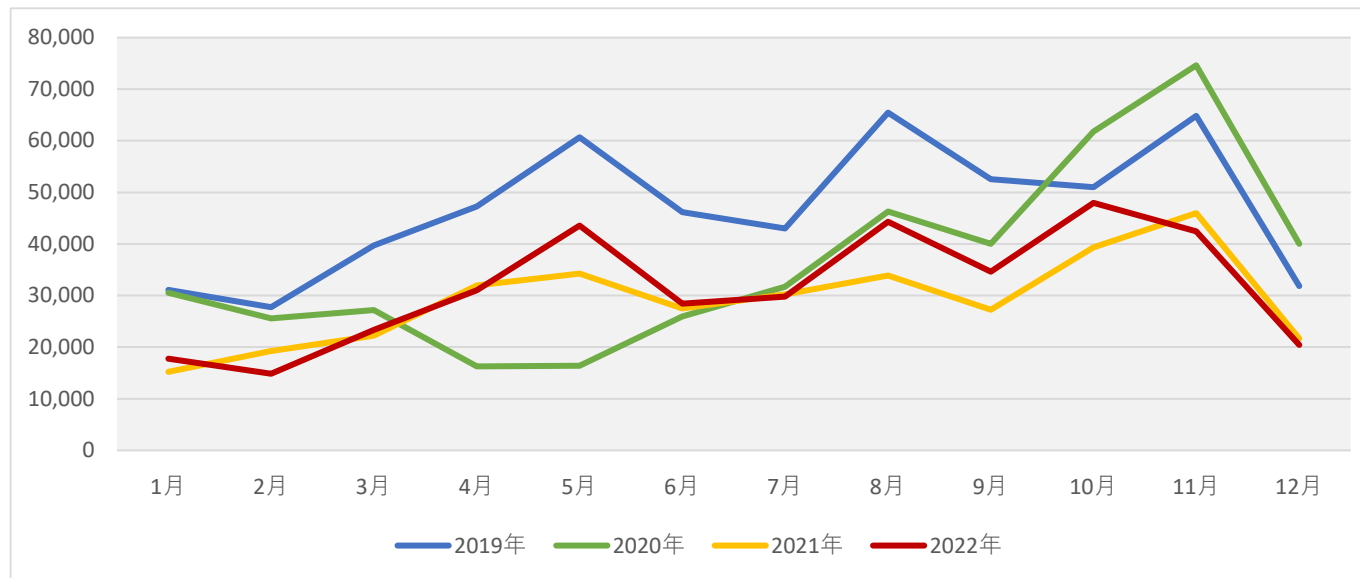
10. 観光動向

(1) 滞在者数の推移

表 「碓氷鉄道文化むら」における滞在者数（推計値）

(人)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	'19年比
2019年	31,100	27,732	39,714	47,246	60,676	46,184	42,991	65,470	52,565	51,017	64,822	31,857	561,374	100%
2020年	30,515	25,568	27,208	16,268	16,425	25,925	31,734	46,266	40,012	61,765	74,591	40,051	436,328	78%
2021年	15,209	19,230	22,230	31,965	34,229	27,524	30,241	33,900	27,264	39,370	45,974	21,686	348,822	62%
2022年	17,788	14,861	23,319	31,031	43,574	28,402	29,788	44,291	34,619	47,942	42,437	20,424	378,476	67%



- 年のうち、5月（GW）、8月（夏休み）、11月（紅葉の時期）にピークが見られる。
- コロナ前の'19年に比べ、'22年は67%であり、まだ3割減の状態であった。

10. 観光動向

(2) 滞在者数の性・年齢構成

表 「碓氷鉄道文化むら」滞在者の男女構成

	男性	女性	計
2019年	56.9%	43.1%	100.0%
2020年	56.1%	43.9%	100.0%
2021年	60.1%	39.9%	100.0%
2022年	59.9%	40.1%	100.0%

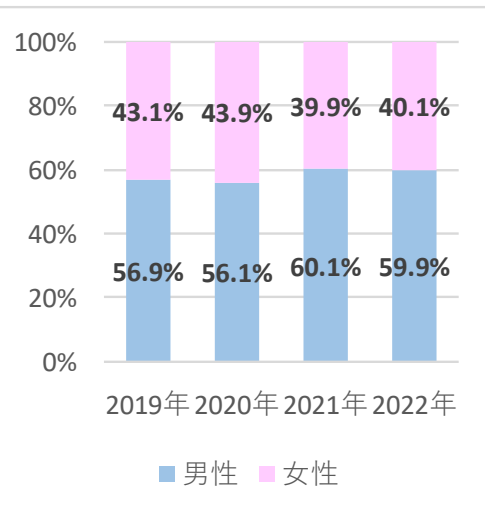
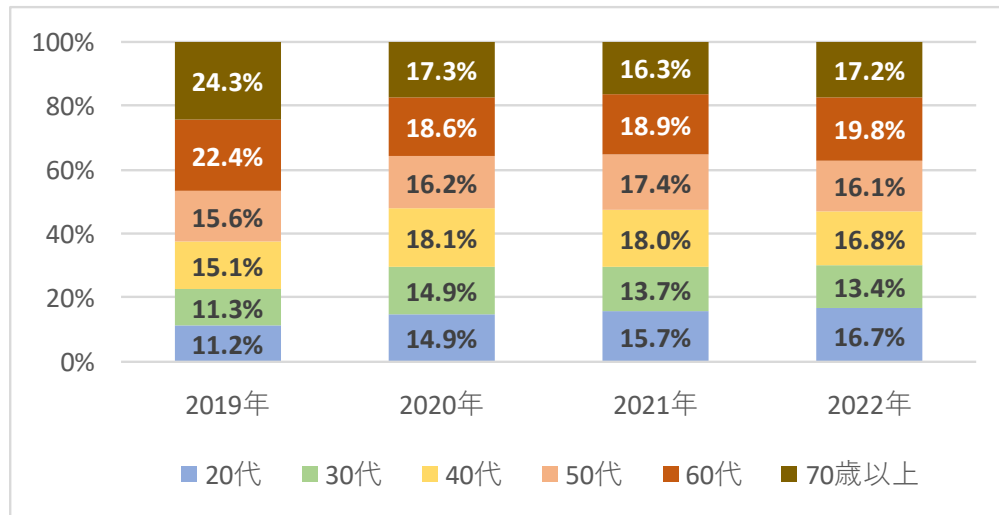


表 「碓氷鉄道文化むら」滞在者の年齢構成

	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	計
2019年	11.2%	11.3%	15.1%	15.6%	22.4%	24.3%	100.0%
2020年	14.9%	14.9%	18.1%	16.2%	18.6%	17.3%	100.0%
2021年	15.7%	13.7%	18.0%	17.4%	18.9%	16.3%	100.0%
2022年	16.7%	13.4%	16.8%	16.1%	19.8%	17.2%	100.0%



- 滞在者のうち、男性が6割を占め、男性が多い特徴がある。
- コロナ前の'19年時点で見ると、60代、70歳以上が46.7%と半数近くを占めている。コロナの影響から、回復が遅れているが、比較的高齢の男性が主要客である可能性がある。

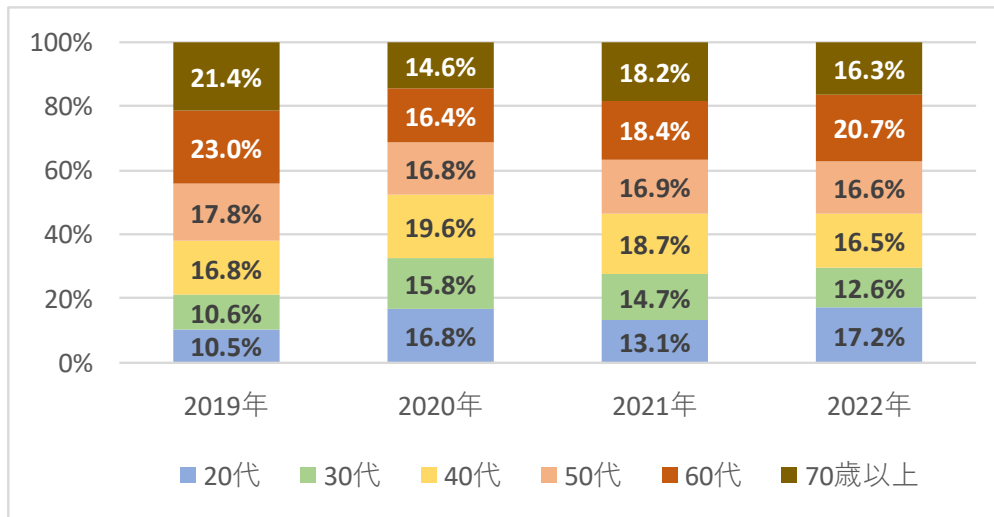
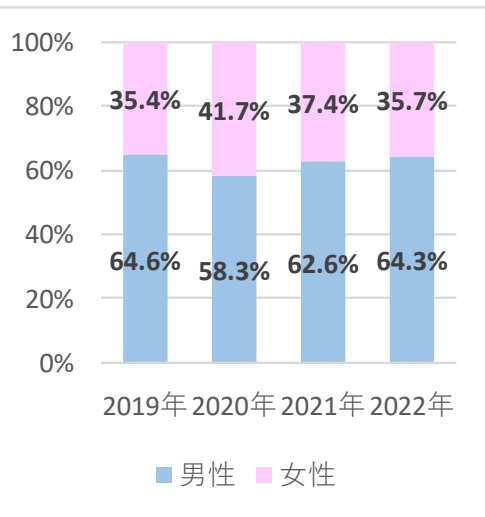
(3) 滞在者数の性・年齢構成（リピーター）

表 「碓氷鉄道文化むら」リピーターの男女構成

	男性	女性	計
2019年	64.6%	35.4%	100.0%
2020年	58.3%	41.7%	100.0%
2021年	62.6%	37.4%	100.0%
2022年	64.3%	35.7%	100.0%

表 「碓氷鉄道文化むら」リピーターの年齢構成

	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	計
2019年	10.5%	10.6%	16.8%	17.8%	23.0%	21.4%	100.0%
2020年	16.8%	15.8%	19.6%	16.8%	16.4%	14.6%	100.0%
2021年	13.1%	14.7%	18.7%	16.9%	18.4%	18.2%	100.0%
2022年	17.2%	12.6%	16.5%	16.6%	20.7%	16.3%	100.0%



- リピーターは、6割を超えるなど、より男性が多い特徴がある。
- コロナ前の'19年時点で見ると、滞在者平均より、40代、50代が多く、鉄道ファン、ファミリー層などが繰り返し訪れる場所になっている可能性がある。

10. 観光動向

(4) 滞在者数の居住地構成

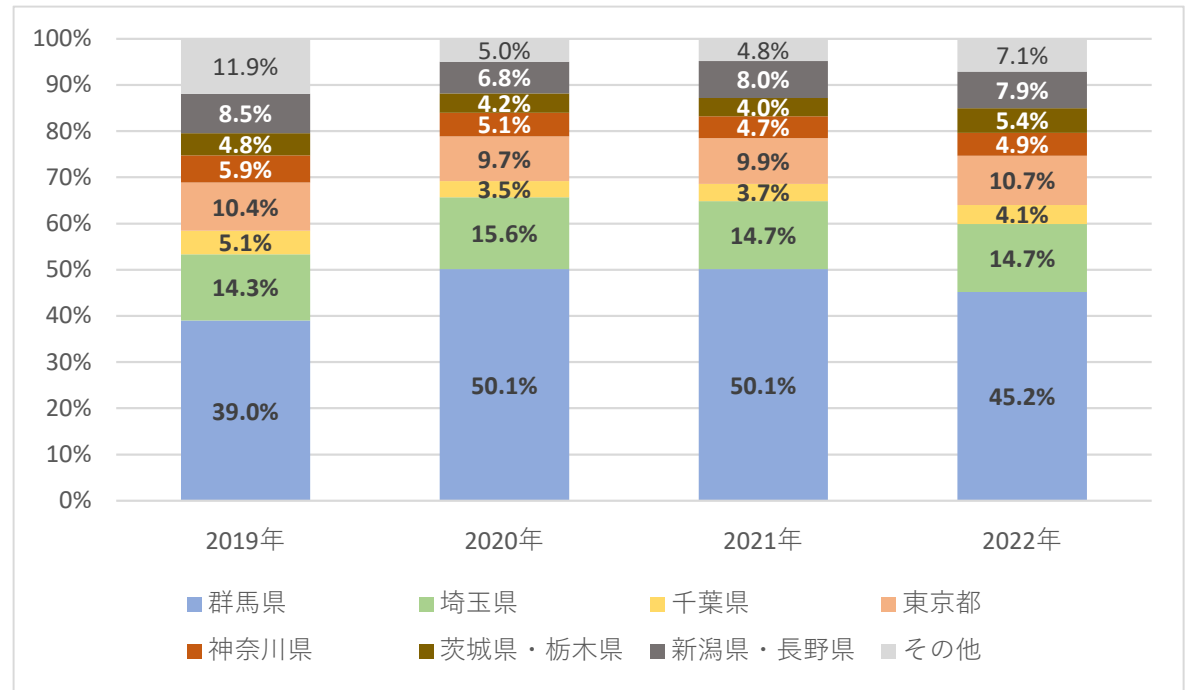
表 「碓氷鉄道文化むら」 滞在者の居住地構成

	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	茨城県・ 栃木県	新潟県・ 長野県	その他	計
2019年	218,936	80,276	28,630	58,383	33,121	26,946	47,717	66,804	561,374
2020年	218,600	68,067	15,271	42,324	22,253	18,326	29,670	21,816	436,328
2021年	174,760	51,277	12,906	34,533	16,395	13,953	27,906	16,743	348,822
2022年	171,071	55,636	15,518	40,497	18,545	20,438	29,900	26,872	378,476
対19年比	-47,865 (-22%)	-24,641 (-31%)	-13,113 (-46%)	-17,886 (-31%)	-14,576 (-44%)	-6,508 (-24%)	-17,817 (-37%)	-39,932 (-60%)	-182,898 (-33%)

注：公表されている各年の滞在者数と居住地構成比を乗じて求めたもの。

	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	茨城県・ 栃木県	新潟県・ 長野県	その他	計
2019年	39.0%	14.3%	5.1%	10.4%	5.9%	4.8%	8.5%	11.9%	100.0%
2020年	50.1%	15.6%	3.5%	9.7%	5.1%	4.2%	6.8%	5.0%	100.0%
2021年	50.1%	14.7%	3.7%	9.9%	4.7%	4.0%	8.0%	4.8%	100.0%
2022年	45.2%	14.7%	4.1%	10.7%	4.9%	5.4%	7.9%	7.1%	100.0%

- コロナ前の'19年時点で見ると、群馬県が39%、ついで埼玉県が14%と多く、両県から5割強が訪れている。
- 東京都、千葉県、神奈川県をあわせて21.4%、その他関東の近隣県で13.3%、その他で11.9%と広域からも一程度訪れている。
- 広域からの来客は、コロナの影響からの回復が遅れている。



(5) 軽井沢観光との比較

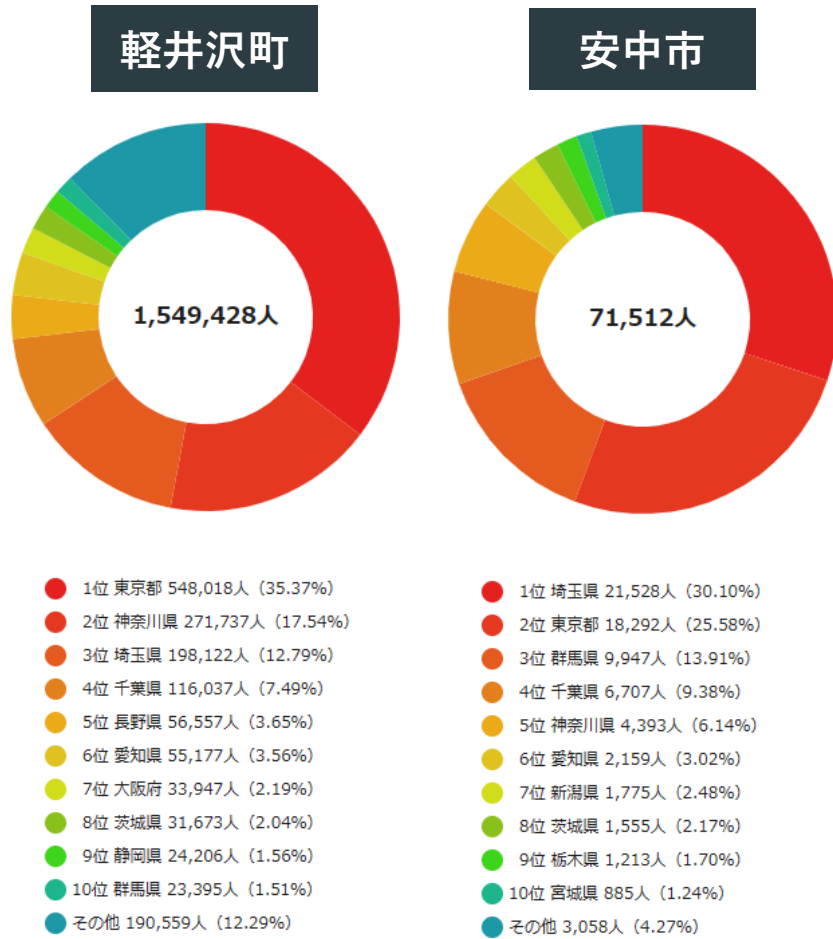


図 居住地別の宿泊者数 (2021年)

出典：地域経済分析システム (Resas)



図 JRバス関東路線 (軽井沢駅～横川駅)

- 現在、軽井沢駅、横川駅間を、JRバス関東の路線バスが上り、下り各8便、運行している。
- 軽井沢町の宿泊者数は、約155万人であり、東京都をはじめ首都圏から広く集客している。
- 軽井沢駅周辺を起点に、「碓氷峠鉄道文化むら」に周遊する割合は、'19年で7.06%となっている。

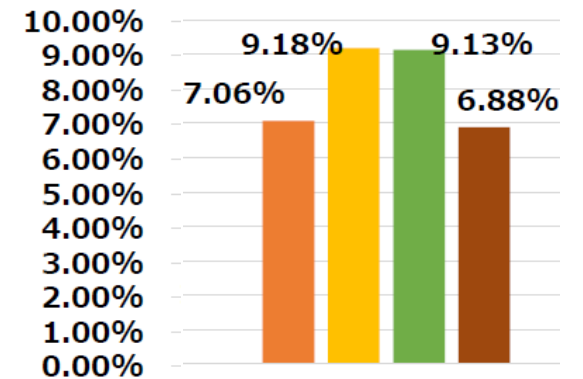
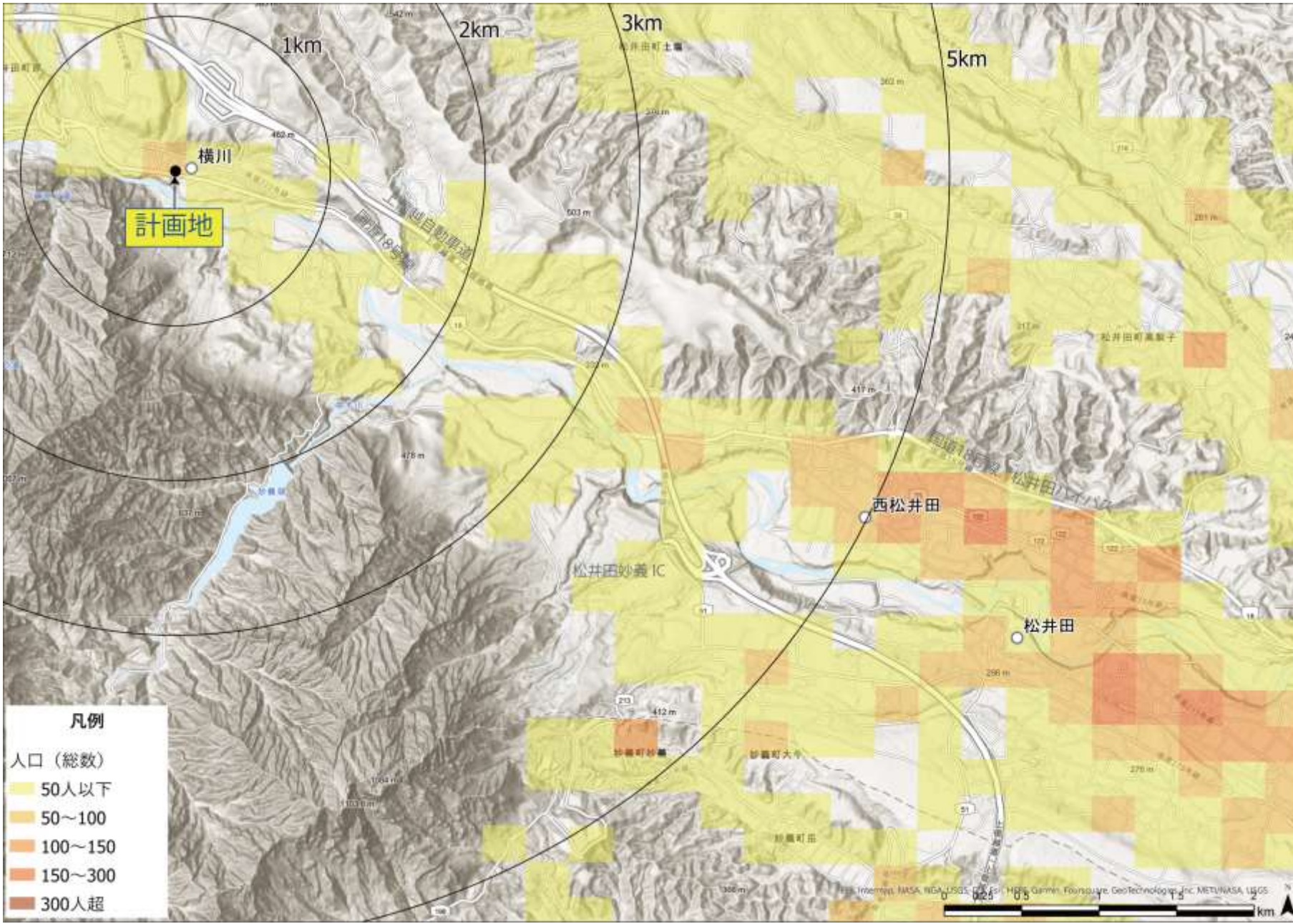


図 軽井沢駅周辺を起点にした「碓氷峠鉄道文化むら」の周遊割合

資料：安中市観光機構

13. 周辺の人口分布



- 計画地の1km圏は、街道沿いの集落に限られており、人口は400人不足である。3km圏人口でも約1,300人に過ぎない。

表 計画地周辺の人口 (2020年)

	総人口	65歳以上	高齢化比率
1km	385	214	56%
1km~2km	696	380	55%
2km~3km	1,261	679	54%
3km~5km	3,547	1,727	49%
5km~10km	19,321	8,170	42%

資料：国勢調査

第1回 道の駅整備検討委員会

道の駅の基本理念について



令和5年11月6日(月)

1. 道の駅とは

ANNAKA CITY

目的

- 道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供
- 地域の振興に寄与

基本コンセプト

休憩機能

- 24時間、無料で利用できる駐車場・トイレ

情報発信機能

- 道路情報や地域の観光情報、緊急医療情報等を提供

地域連携機能

- 文化教養施設や観光レクリエーション施設等の地域振興施設

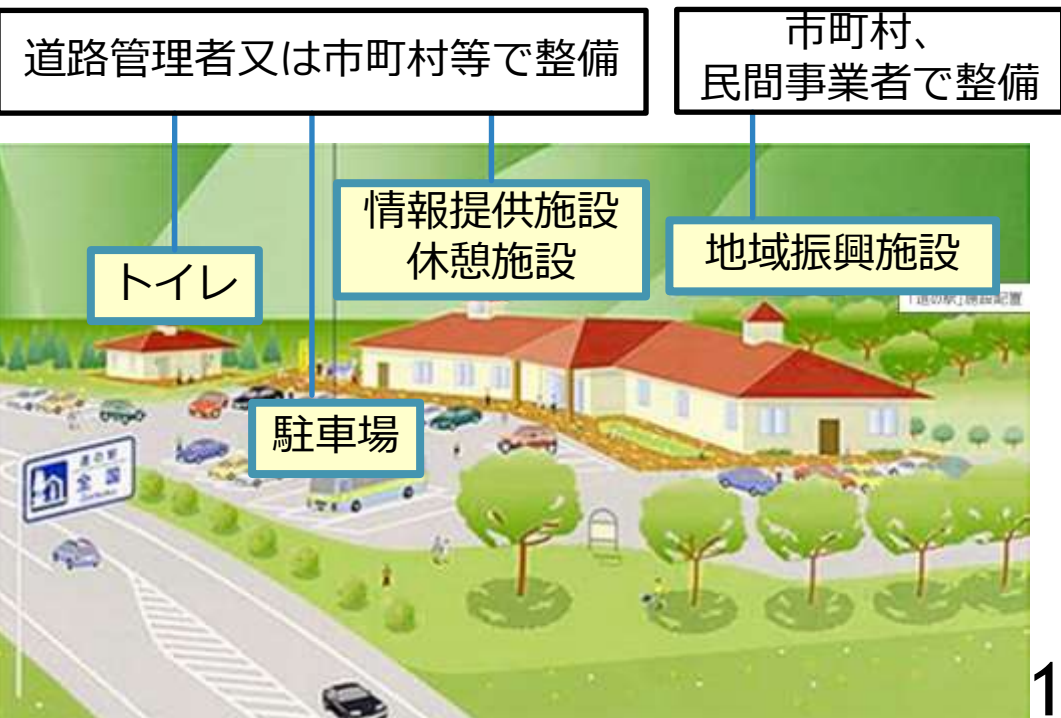
休憩機能

地域とともにつくる
個性豊かなにぎわいの場

※ 災害時は、防災機能を発現

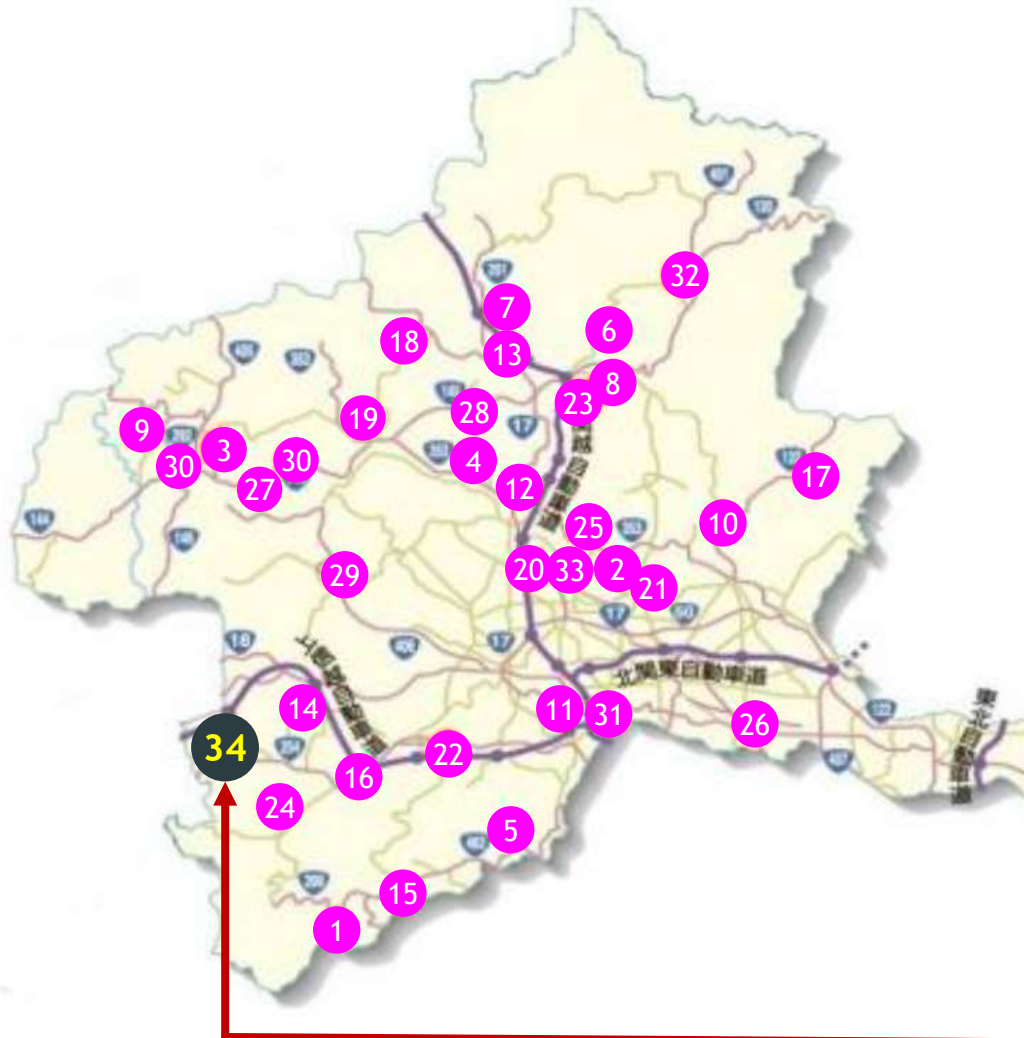
情報発信
機能

地域連携
機能



ANNAKA CITY

群馬県内には、33の道の駅がある（安中市の道の駅は、34番目）。 ※令和5年10月現在



No	駅名	地域	所在地	隣接道路	登録開始年月	No	駅名	地域	所在地	隣接道路	登録開始年月
1	上野	西毛	多野郡上野村	国道299号線	1994/8	18	たくみの里	北毛	利根郡みなかみ町	群馬県道53号線	2005/8
2	ぐりーんふらわー牧場・大胡	中毛	前橋市	国道353号線	1995/4	19	霊山たけやま	北毛	吾妻郡中之条町	群馬県道53号線	2008/8
3	六合	北毛	吾妻郡中之条町	国道292号線	1996/4	20	よしおか温泉	中毛	北群馬郡吉岡町	国道17号線	2010/3
4	おのこ	中毛	渋川市	国道353号線	1996/4	21	赤城の恵	中毛	前橋市	群馬県道34号線	2010/8
5	上州おにし	西毛	藤岡市	国道462号線	1996/4	22	甘楽	西毛	甘楽郡甘楽町	群馬県道46号線	2011/3
6	川場田園プラザ	北毛	利根郡川場村	群馬県道64号線	1996/4	23	あぐりーむ昭和	北毛	利根郡昭和村	群馬県道65号線	2011/3
7	みなかみ水紀行館	北毛	利根郡みなかみ町	国道291号線	1996/8	24	オアシスなんもく	西毛	甘楽郡南牧村	群馬県道45号線	2011/3
8	白沢	北毛	沼田市	国道120号線	1997/4	25	ふじみ	中毛	前橋市	国道353号線	2011/3
9	草津運動茶屋公園	北毛	吾妻郡草津町	国道292号線	1998/4	26	おおた	東毛	太田市	国道17号線	2011/8
10	くろほね・やまびこ	東毛	桐生市	国道122号線	1998/4	27	ハッ場ふるさと館	北毛	吾妻郡長野原町	国道145号線	2013/3
11	ららん藤岡	西毛	藤岡市	群馬県道13号線	1999/8	28	中山盆地	北毛	吾妻郡高山村	群馬県道36号線	2013/10
12	こもち	中毛	渋川市	国道17号線	2000/8	29	くらぶち小栗の里	西毛	高崎市	国道406号線	2014/4
13	月夜野矢瀬親水公園	北毛	利根郡みなかみ町	群馬県道61号線	2000/8	30	あがつま峡	北毛	吾妻郡東吾妻町	町道5284号線	2014/10
14	みょうぎ	西毛	富岡市	群馬県道196号線	2000/8	31	玉村宿	中毛	佐波郡玉村町	国道354号線	2015/4
15	万葉の里	西毛	多野郡神流町	国道462号線	2000/8	32	尾瀬かたしな	北毛	利根郡片品村	国道120号線	2017/9
16	しもにた	西毛	甘楽郡下仁田町	国道254号線	2003/8	33	まえばし赤城	西毛	前橋市	国道17号線	2022/8
17	富弘美術館	東毛	みどり市	国道122号線	2005/8	34	安中（仮称）	西毛	安中市	国道18号線	—

2. 計画地の位置付け

ANNAKA CITY

◆「松井田地域」地域整備構想図



計画地である横川駅周辺は、安中市都市計画マスタープランにおいて、◎関所跡や鉄道文化遺産、歴史的街並みを有する「**広域観光交流ゾーン**」◎地域内の交通連絡を強化し、商業施設等を集積する「**地域生活拠点**」に位置付けられています。

まちづくりの基本方針

＜自然・歴史文化の資源を活かす
広域観光交流の促進＞

旧中山道の松井田宿・坂本宿の街並み、横川の碓氷関所跡や碓氷峠鉄道文化遺産、妙義山の山並みの眺望、群馬県野鳥の森・小根山森林公園などの山林自然環境など、地域の恵まれた自然・歴史文化とふれあい、交流することのできる環境を保全・整備し、**アクセス道路や駐車場の整備などにより広域観光交流を促進し、交流により地域の活力を維持・増進します。**

2. 「道の駅」の役割

ANNAKA CITY

安中市では、「選ばれる安中市」に躍進するための7分野として施策を展開しており、道の駅については、『**観光や防災に寄与する市内初の「道の駅」**』として位置づけています。

観光については、観光入込客数で県内12市中、最低ランクなど、観光振興の強化が課題となっておりますが、碓氷峠周辺の観光資源の活用や軽井沢町との真の連携等により、観光客を誘客する観光の拠点となることが期待されます。

防災については、平成26年2月の大雪の際に長時間にわたり車両が立ち往生したことや大雨の際に通行規制を行うことを踏まえ、車両の退避場所等として、また災害時の避難場所として、防災の拠点となることが期待されます。

記録的大雪で国道18号碓氷バイパスでの車両の立ち往生続く



出典：日テレNEWS

記録的大雪で国道18号の碓氷峠付近が通行止めになり、立ち往生する車両（群馬県安中市松井田町）



出典：時事通信社

4. 計画地の区域

ANNAKA CITY

注: 区域は仮に設定したものであり、決定したものではありません。



- 道の駅は、横川駅南側の低未利用地を対象に検討する。現状は、バスが発着するロータリー、駐車場、倉庫等となっている。
- 隣接して観光誘客の最大要素である市有施設の「碓氷鉄道文化むら」が立地しており、道の駅と機能分担し、一体的に誘客することを視野に検討する。
- 今後の整備や誘客状況等に応じて、この区域のみならず広域的な区域を検討する。

(1) 基本理念

- S Lが走る鉄道駅とともに、碓氷峠の鉄道の歴史、文化を味わいながら、交通の昔と今をつなげる道の駅とする。
- 碓氷峠、さらには安中市内の観光資源をつなぎ、あんなかトリップを誘発する、観光振興の起点となる道の駅とする。
- 安中市の食の魅力や、アウトドアスポーツ、イベントを楽しむ拠点とし、新たな客層を惹きつけ、地域とつなぐ道の駅とする。
- 災害時の国道18号の交通処理、避難など、群馬県緊急輸送道路ネットワークの防災拠点となる道の駅とする。
- 地域に密着した公共交通により地域をつなぎ、コミュニティを支える道の駅とする。
- 地域の魅力を発信し、地域を元気にする道の駅とする。



「 基本理念をあらわす言葉 」

今後、委員会において基本理念を検討・審議していきます

(2) ターゲットと目的 (案)

ANNAKA CITY

ターゲット

① 首都圏を中心に高速道路、国道18号を通行して軽井沢を訪れる観光客

- ・ 松井田妙義ICより軽井沢方面を往来する観光客（ファミリー、若年）
- ・ 国道18号旧道の紅葉、めがね橋などドライブを楽しむ観光客（中高年、ファミリー）

② 横川駅から路線バスに乗り継いで軽井沢駅を往復する定期客

- ・ 通勤通学、帰省、買物等で、日常的に路線バスを利用する乗客（中高年、若年）

③ 横川駅、碓氷峠鉄道文化むら、アプトの道、めがね橋など碓氷峠を訪れる観光客

- ・ 鉄道ファン（小さな子ども連れのファミリー、中高年男性など）
- ・ 廃線ウォークを楽しむ日帰り観光客（中高年を中心としたカップル、単身、団体客）

④ 首都圏を中心にサイクリング、ハイキングを楽しむ人

- ・ 国道18号旧道のサイクリングを楽しむ人（中高年、若年）
- ・ 碓氷峠ハイキングを楽しむ人（中高年、ファミリー）

⑤ 地域住民

道の駅の目的

国道18号を通行するドライバーが安全、快適に通行できるよう、**休憩施設**を提供する。

災害時の国道18号交通規制時において、高崎方面に計画地内で**Uターンできる車路**を提供する。

JR信越線から路線バスに乗り継いで軽井沢駅に向かう**バス利用者の安全、快適な乗降、乗り継ぎ環境**を提供する。

国道18号を通行して軽井沢を訪れる人などが立寄って飲食などを楽しむとともに、**地域の食、特産品、安中観光の魅力**を発見し、**次には安中市を旅行で訪れるきっかけ**をつくる。

碓氷峠鉄道文化むらを起点に、トロッコ列車、アプトの道などにより、碓氷峠を周遊する**観光客の駐車場**を提供する。

安中市の各地を結ぶ鉄道、観光バス、デマンドバス、乗合タクシー、カーシェア、グリーンスローモビリティ※、レンタサイクルなど**多様な移動サービスを結びつける交通結節機能**を提供する。

碓氷峠の観光資源を活用した**イベントを行う拠点**とし、固定客のほか、新たな客層を惹きつける。

碓氷峠の自然のなかで、**アウトドアスポーツを楽しむ拠点**とし、新たな客層を惹きつける。

災害時の近隣住民、滞在者の**避難場所**を提供する。

地域住民の**買物の場、コミュニティ活動の場**を提供する。

※時速20km未満で公道を走る電動車を活用した小さな移動サービス

休憩・交通結節

【位置づけ】

軽井沢観光と連携した碓氷峠観光、安中市内の観光周遊を誘発する交通結節点

【導入機能】

鉄道駅が隣接する道の駅ならではの観光周遊を誘発する移動サービス

- ・ 駐車場（小型車、大型車）
- ・ バスターミナル機能（ロータリー、運転手の休憩施設等）
- ・ 鉄道、バスの乗り継ぎ環境の整備（南口改札など）、乗り継ぎダイヤの調整
- ・ 道の駅～めがね橋～軽井沢駅間を運行するJRバス関東「めがねバス」強化（繁忙期の臨時便等）
- ・ 道の駅～峠の湯を運行するトロッコ列車（シェルパくん）
- ・ グリーンスローモビリティの運行（道の駅構内（線路上）～旧街道～横川SA）
- ・ 道の駅～峠の湯～碓氷湖～めがね橋～中山道坂本宿等を周遊する「碓氷峠周遊バス」
- ・ 道の駅～霧積温泉～磯部温泉～秋間梅林～旧安中藩武家長屋等を周遊する「安中周遊観光バス」
- ・ 観光客が安中市内を周遊できる電動レンタサイクルなど
- ・ カーシェア（群馬ダイハツ自動車(株)包括連携協定関連）
- ・ 「GunMaas（ぐんまーす）」、「回遊軽井沢」による各移動サービスの活用



鉄道駅に隣接した道の駅

出典：碓氷峠鉄道文化むらHP

ANNAKA CITY

休憩・交通結節

【位置づけ】

安中市の地域生活拠点として、**交通弱者に対する公共交通サービスを提供する交通結節点**

【導入機能】

道の駅を起点とした公共交通サービスなど

- 乗合タクシー（路線定期運行、予約運行）
- デマンドバス（平日は市民の公共交通、休日は観光バスとして併用）
- タクシー券（既存）
- カーシェア（群馬ダイハツ自動車(株)包括連携協定関連）
- 道の駅における安全、快適な乗り継ぎ環境、バリアフリー化、EV充電設備



情報発信・防災

【位置づけ】

① 安中市道の駅を、群馬県緊急輸送道路ネットワークの第一次緊急輸送道路である国道18号（碓氷バイパス）、第二次緊急輸送道路である国道18号（碓氷峠旧道）に連絡する**第2次防災拠点**として、緊急輸送のための拠点とするほか、国道18号交通規制時におけるUターン路確保等の応急対策活動の拠点とする。

防災拠点とは、災害時における医療活動、支援活動などの拠点となる施設や場所のこと。県内では33か所の道の駅が、第二次防災拠点に位置づけられている。

第一次防災拠点	応急対策の活動体制の確立救助・救急、医療及び消火活動
第二次防災拠点	緊急輸送のための交通確保・緊急輸送活動施設、設備の応急復旧活動
第三次防災拠点	食料・飲料水及び生活必需品等の調達、供給活動



出典：群馬県緊急輸送道路ネットワーク図，平成30年3月

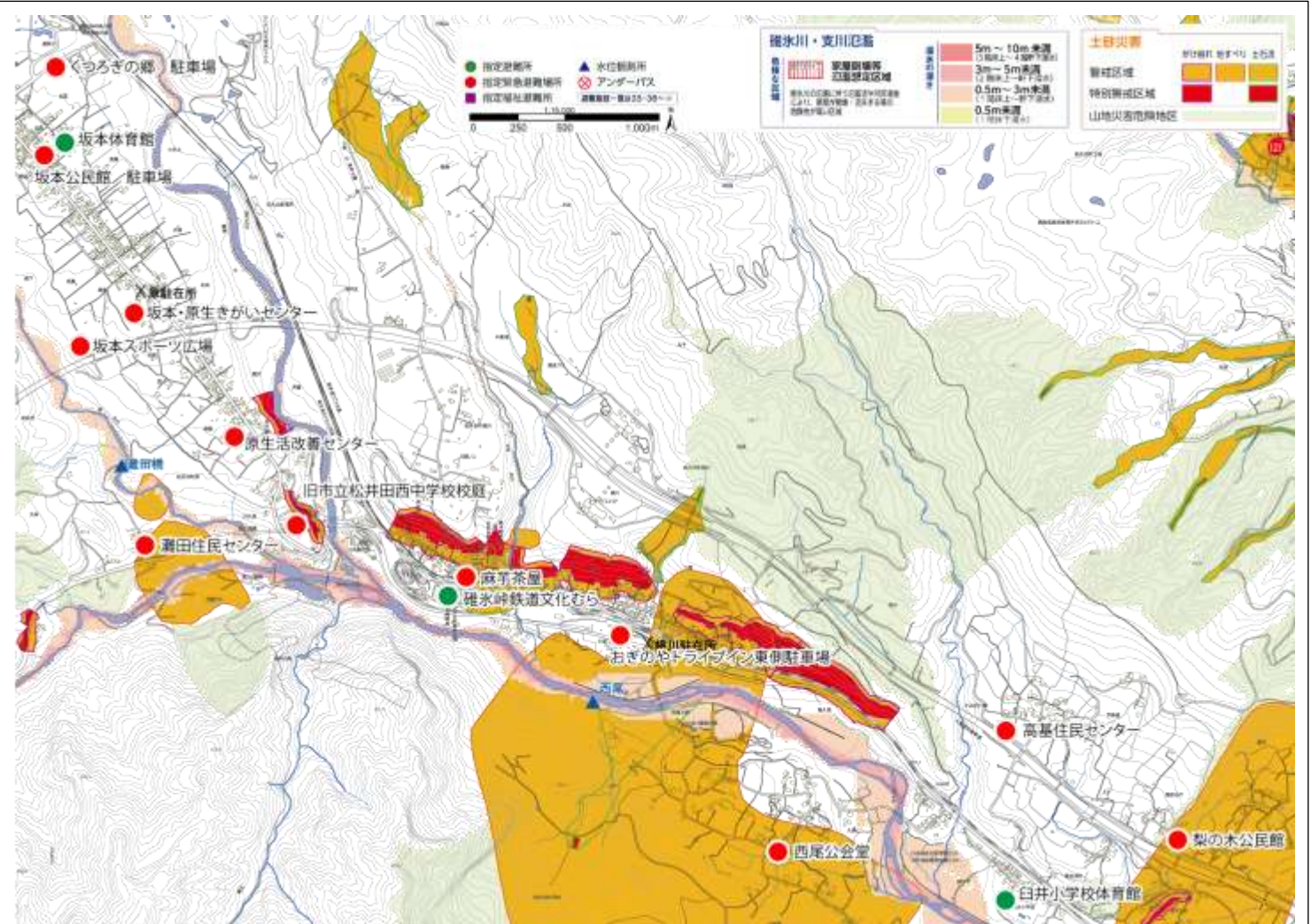
情報発信・防災

【位置づけ】

② 安中市道の駅を近隣住民や滞在者の**避難場所**として位置づける。

注：「碓氷峠鉄道文化むら」は指定避難所、「おぎのやドライブイン東側駐車場」は指定緊急避難場所に指定済みである。

指定避難所	災害で被災し、自宅で生活できない人が一定期間生活するための施設
指定緊急避難場所	災害による危険が迫っている状況で、指定避難所まで避難することに危険を伴う場合などに、緊急的・一時的に身の安全を守るための場所
指定福祉避難場所	高齢者や、障害者その他の特別な配慮を必要とする要配慮者を受け入れるための施設



情報発信・防災

【導入機能】

① 国道18号の通行規制時のUターン施設、休憩施設

- ・ 国道18号（碓氷バイパス）150mm、国道18号（碓氷峠旧道）120mmの規制基準値を超える降雨、積雪、土砂災害等による通行止の際に安全かつ円滑にUターンできる車路や駐車場、ドライバーの休憩施設

② 地域住民、来訪者の避難場所

- ・ 指定緊急避難場所： 緊急的・一時的に身の安全を守る場所（駐車場や広場、歩行者空間等）
- ・ 指定避難所： 災害で被災し、自宅で生活できない人が一定期間生活する場所（ホール、集会室等の避難所に適した施設）

③ 避難場所に必要な施設、設備

- ・ 屋内又は屋外の備蓄倉庫： 非常用食料・資機材を備蓄
- ・ デジタルサイネージ、掲示板： 観光、交通情報と併用して災害情報を発信
- ・ 非常用電源： 太陽光やバイオマス、電気自動車等による避難場所等への電力供給
- ・ 耐震性貯水槽： 飲料水の供給
- ・ 災害用トイレ： 携帯トイレや簡易トイレ、仮設トイレの備蓄
- ・ その他： かまどベンチなど

情報発信・防災

【位置づけ】

- 軽井沢観光客が立寄り、碓氷峠の自然、歴史、文化に触れ、安中市の魅力を発見し、**安中市への観光のきっかけとなる拠点**
- 道の駅利用者に対する交通、災害、観光情報の発信拠点

【導入機能】

① 観光案内所

- 中山道、碓氷峠の歴史を伝える観光案内所をより多くの人目につき、立寄りやすい道の駅施設内に設置
- VRで歴史を視覚的に体験できるサービス、観光ガイドなど、新たな価値を提供

② 情報発信施設

- デジタルサイネージ、掲示板：交通や災害、観光情報の発信

地域振興

【位置づけ】

- 首都圏等からの来訪者に対する**安中市の農産物、特産品のPR拠点**
- ここでしか味わえない食べ物、雰囲気などで**新たな客層を惹きつける拠点**
- 旧松井田町地区における**新たな就農者の主要販路**
- 地域住民の**日常の買い物の場**
- **地域産木材活用モデル**

【導入機能】

① 農産物直売所、コンビニエンスストア

- 安中市の農産物や特産品、加工食品の販売・加工施設

② 産直レストラン、カフェ

- 安中市の名店定番メニュー
- 若者をターゲットにした地元産品などを使用したスイーツなど、ここでしか味わえない新メニュー
- SL、妙義山など、SNSでの発信を誘発する撮影、眺望スポット
- SLをモチーフにするなど、安中市らしい建物デザイン

③ 地域産木材の活用

- 地域の木材を利用し、道の駅施設の構造や内外装、建具に利用し、木のぬくもりが感じられる空間をつくる。
- 木質バイオマス利用でエネルギーの地産地消を進める。
- 地域産のチップやペレット等、木質バイオマスを燃料とする暖房器具やボイラーの利用を促進する。

地域振興

【位置づけ】

- 碓氷峠のヒルクライムなど大自然を楽しむ**サイクルツーリズムの拠点**
- 碓氷峠の廃線ウォーク、トレッキングを楽しむ**ハイカーの拠点**
- 碓氷峠の観光資源を活かし、若い女性など新たな客層も呼び込む**イベント拠点**

【導入機能】

① サイクリスト、ハイカー向けの施設、サービス

- 簡易宿泊施設や休憩室、ロッカー、シャワー、更衣室、パウダールーム、自転車メンテナンス・ブース
- E-Bikeなどサイクリングやトレッキング用品のレンタルサービス、初心者向けコースガイド
- BBQ施設

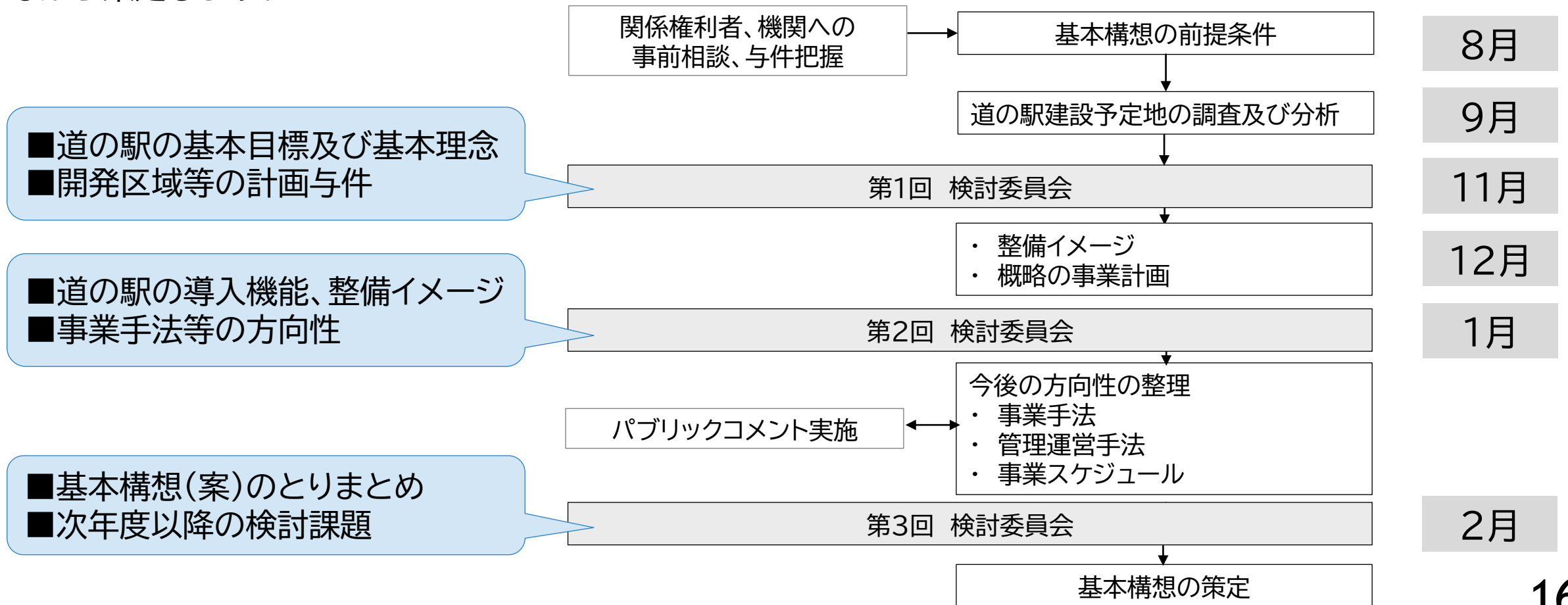
② 文化スポーツイベントの会場

- JRのSL観光列車とタイアップした女子旅イベント
- クリスマス、ハロウィーンなど、歳時にあわせたプロジェクションマッピング、イルミネーション
- 安政遠足侍マラソンや遠足、廃線ウォークの立寄りスポット
- 碓氷峠サイクリング、トレイルランニング等のスポーツ大会のスタート地点

5. 今後の進め方

ANNAKA CITY

- 令和5年度中に、道の駅基本構想を策定。今後、基本計画や実施設計等を経て、可能な限り早期なオープンを目指します。
- 基本構想策定にあたっては、学識経験者や関係機関の代表者等で構成する「**安中市道の駅整備検討委員会**」を設置し必要事項等を検討するとともに、パブリックコメントを実施し幅広く意見を募集するなど、協議を重ねながら策定します。



A班

【ターゲット】 地元住民、男性をはじめとした観光客

【コンセプト】 地域の拠点、観光の始点

<p>休憩施設</p>	<p>トイレ、多目的トイレ、トイレにメイク直しできる台 ベビーコーナー、キッズスペース、 NEW DAYS（JRの敷地）、軽食スペース、自販機（飲み物に限られず）、 古い列車を休憩スペースにする、足湯、マッサージチェア、喫煙所、写真スポット WiFi、AED、貸出充電器（Charge Spot）</p>
<p>情報発信施設</p>	<p>横川や軽井沢の気象情報、交通情報を伝える掲示板、路面情報をモニター、デジタルサイネー ジ、事故が起きやすい場所を掲示、観光マップの配置、新聞を読むコーナー、防災無線</p>
<p>地域振興施設</p>	<p>移動スーパーの拠点、農産物直売所、地元の新鮮な野菜が食べられる食堂、梅の6次産業化、 ATM 線路の写真が撮れるスペース、御守印スタンプ、温泉が出る蛇口、周囲の山々の案内、周辺地 域のジオラマ、文化村からEF63を1輛持ってきて展示、歴史を伝えるミニコーナー 安中市役所横川支所、まちづくり協議会の拠点、地元民の交流施設</p>
<p>その他</p>	<p>新しい改札口、一階をピロティーにしてバスターミナルにする、Uターンできる場所、タクシ ー乗り場 太陽光パネル、防災倉庫、緊急用ヘリポート ゴミ箱、ペットを繋げられる器具（軽井沢が近いから）、AMAZON集配センター、タイヤチェ ーン・スタッドレスタイヤに交換できる場所</p>

B班
【ターゲット】 関東在住ファミリー層（両親30～40代、小学生の子ども、自家用車で来訪）
【コンセプト】 駅がつなく、レールがつなく ほっとステーション横川

休憩施設	道の駅のデザイン自体をレトロ調に（レンガ） 電車やトロッコ列車が見えるカフェ、レトロカフェ、レストラン（線路跡を活用した通路、周辺のスペースに店舗を設置）、テイクアウトもできる車両内レストラン・カフェ、車両をレストランとし駅から見渡せるランドマークとして機能させる 川遊びスポット、公園、傾斜を生かした滑り台、足湯（峠の湯へ）、公園
情報発信施設	道の駅周辺・安中市内の観光案内所、道の駅周辺ちよい歩きMAP、横川・松井田地域の歴史展示、市内の他の観光施設を紹介するパネル 交通情報案内、ライブカメラ、災害情報の発信、 「碓氷鉄道文化むら」の店舗を集約、鉄道文化むらとの連携、アウトドア総合窓口（アクティビティ拠点）
地域振興施設	駅と直結、小さめのバスターミナル（観光＋生活利用）、バスと鉄道の乗換動線を簡略化、タクシー乗り場、送迎サービス、レンタカー・カーシェア、廃線ウォークラウンジ（学びの場、出発地点）、レールを通路として活用、碓氷峠の鉄道の歴史が分かるもの（文化むらと連携） 物販施設（土産など）、農産物直売所、地域の事業者が入るミニ商店街、PopUpストアのためのスペース、キッチンカー、イベントスペース、キッズスペース（ファミリー向け）、コミュニティスペース（地域住民向け）、安中の食・文化体験施設、峠の釜めしづくり体験施設、オリジナルプラレールづくり（鉄道文化むらと連携）、鉄道（SL）展示＋フォトスポット、スタンプラリー
その他	ペット店内OK・ドッグランを整備（軽井沢観光客を呼び込む）、HPやSNSで広報、自転車型トロッコ（廃線活用）、ロータリー、サイクルラック、線路跡メモリアル通路、グランピング、大自然サウナ、コンビニ

C班
【ターゲット】ファミリー
【コンセプト】パツと寄れてギュッと味わえるSLステーションあんなか

休憩施設	<p>時間を気にせず自分たちのペースで休憩できるスペースの確保、周りを気にせずゆっくりできる場所（赤ちゃん授乳室）、半個室的な椅子の設置、テント・個室（プライベート）授乳室 コンビニみたいな何でも揃ったお店、食事の充実（おぎのや）、絵本×コーヒー 給油できるスペースの確保、広大でストレスフリーの駐車場、居眠り運転防止のベンチと飲料水</p>
情報発信施設	<p>詳細・最新の交通状況のモニタリング、具体的な避難場所の情報、花や紅葉の状況レポート、周辺の観光施設のパンフレットや貼り紙、軽井沢プリンスショッピングプラザの混雑状況、デジタルボードの設置（男女のトイレの間）、EF63運転体験のYouTube Live（碓氷峠鉄道文化むら）</p>
地域振興施設	<p>SL風の駅舎（1号車レストラン、2号車土産カフェ、3号車トイレ、4・5号車休憩スペース、道の駅釜めし→釜めし型の建物、鉄道レストラン→列車の中でご飯が食べられる ハンドメイドギャラリー、イルミネーションの公園、秋間梅林梅の食べ比べができる場所、安中の地酒、ノンアルの飲み比べ&販売、地元で作られた食材の販売、釜づくり体験 鉄道グッズや釜めし関連のお土産コーナー、お土産の商店街（ぐんまのお土産アーケード）、廃止路線の石の缶詰販売機</p>
その他	<p>軽井沢行きバスのバスターミナル、廃線でペダルをこぎながら乗る自転車、向こうの岩の山からバンジージャンプ、傾斜を利用して太陽光発電、矢の沢川を整備し夏に遊べるようにする、ドライブスルーを充実し降りずに使える自動販売機、SLが停まるときは利用してイベントを行う、ドクターフィッシュ</p>

D班
【ターゲット】 地域住民を含む関東甲信越に住む若年層
【コンセプト】 道をつなぐ、歴史をつなぐ うすい文化ステーション

休憩施設	<p>バス乗降場、地元高齢者向けの買い物バス等の乗降場、大型トラック専用駐車場、身障者用駐車場、水素ステーション（燃料電池）、EV車充電施設、</p> <p>食事ができるベンチとテーブル、屋根付きの休める場所、自販機、ごみ箱、トイレ、EV、スロープなどの福祉施設</p> <p>ドライバー向けの簡易ホテル、ハイキング後に汗を流せるシャワールームの設置、足湯</p> <p>フードコート、線路沿いのカフェ、多様な種類のレストラン、移動販売車の設置、子供向けトランポリン・滑り台、妙義をイメージした遊具の設置、小さいゲーセン</p>
情報発信施設	<p>NEXCOのような道路情報（霧の状態、事故情報）、東京・軽井沢・高崎等需要の大きい街へあと何分かかかるかという情報、軽井沢アウトレットの混雑情報</p> <p>広域マップ、バスロケーションシステム、地域のイベント情報、梅の開花・紅葉スポット情報、ハザードマップ、安中の雨雲情報</p> <p>鉄道の歴史を知ることができる施設、入口など目立つ看板</p>
地域振興施設	<p>道の駅構内と横川駅をつなぐ改札、SLとのフォトスポット、SLをモチーフにした販売店、SL+イルミネーション、SLの運転体験、小梅ちゃんの顔はめパネル、動物と触れ合い</p> <p>アウトドア用品店、無印良品、スーパー、地域の食材を使った調理体験施設、安中の芋のソフト・焼き芋、安中市産の木材を使った日用品施設、ご当地野菜（特産品）の直売所、安中特有のお土産販売所</p> <p>高低差を利用してステージを作る（和太鼓やダンスをるところ）、梅林を創造する、観光案内所、各観光地の無料パンフレットを集約したところ、移住促進情報提供、地域の歴史体験施設</p>
その他	<p>展望台、非常用発電機、備蓄倉庫、避難施設、ATM銀行、レンタカー施設、レンタサイクル、WiFi、ドッグラン、郵便ポスト、道の駅を利用したら割引サービス、バリアフリー、太陽光パネル</p>

ANNAKA CITY
E班
【ターゲット】 軽井沢へ行き帰りに立ち寄るファミリー層
【コンセプト】 小さな旅のお手伝い ～体験型コミュニティステーション

休憩施設	足湯、階段で休憩できるスペース、ハンギングチェアの休憩スペース、横になれる休息場所、シャワールーム、広い駐車場、飲食店、安中で一番人気のラーメン屋の支店、コンビニ、カフェ、オリジナルのデザート、犬と一緒に過ごせる施設（テラス席、階段やドッグランなど）
情報発信施設	観光案内所、最新の災害・道路交通情報掲示板、全国の鉄道の運行情報 EV充電、SLのイルミネーション、軽井沢で使えるクーポン 鉄道文化むらの電車の模型（宣伝もかねて）
地域振興施設	列車みたいな道の駅、釜めしを電車の中で食べられる施設、トロッコ列車の乗車割引、ガラス張り、撮影スポット、列車が見れる場所、バス専用ロータリー、電車型のアスレチック（つり革をたどってゴールを目指す。揺れに耐えておとととならなかつたらクリア） 防災公園、イベントのできる広場、鉄道の学習講座、陶芸などの体験施設、ワークショップルーム、子供に分かりやすい資料館（めがね橋、碓氷峠、電車など）、上毛かるた+ぐんまちゃんグッズショップ 直売所、地場産の農産物販売、農家の顔が見える野菜、地元産スーパーマーケット的機能を持つ売り場、施設内で流れる音楽を利用者が決められるようにする→Bluetoothで接続、みんなで作る道の駅にする
その他	道の駅の中に改札口、横川－軽井沢路線バス&一般観光バスターミナル、スタッドレス交換所、ガソリンスタンド、多機能トイレ、アウトドア用品店（軽井沢へ行く人をターゲットにするなら）、サテライトオフィス